

今月の



隣に伝えたい

新たな言葉と概念

【DPC】

英 Diagnosis Procedure Combination 和 診断群分類 略 DPC
同 世界各国で診断群分類の開発・活用が行われており、米国は DRG (Diagnosis Related Group),
 英国は HRG (Healthcare Resource Group) 等がある。

〈解説〉 診断群分類は、1960年代末期、米国のエール大学において、医療の QC 活動の一環として医療サービスの評価を目的とし、患者の分類法 (DRG) として開発されたのが始まりとされる。

これは臨床上的類似性 (診断名、診療行為、在院期間等) や医療資源の投入量 (人、もの、金) の均質、均一性に配慮しつつ一定のルールで患者を分類し、患者区分ごと、医療機関ごと、地域ごとの比較等を可能とした管理ツールである。

DRG は、その後、1983年に米国のメディケアパート A (老人や障害者に対する公的医療保障制度) の算定方法に採用され、それ以降、診断群分類の開発は世界中に拡大する。

わが国でも独自開発を行い、平成10年11月から国立病院等10病院で1入院期間包括支払いに採用、その後、DPCとして平成15年度からの特定機能病院等に対する1日包括支払いに用いられ現在に至る。

DRGが1入院期間包括制度、DPCが1日包括制度であるとするのは誤り。本来、DRG、DPC等は患者分類のための種別であり支払い方式を指すものではない。

前述のとおり管理ツールであり、患者群の比較から最終的には医療の透明化や質の改善、医療計画に代表される医療ニーズや将来予測、予算管理まで広く活用できる。(阿南 誠：NHO九州医療センター医療情報管理室)

(1)専門分野：診療情報管理、医療管理、経営管理、公衆衛生等

(2)関連学会：日本診療録管理学会、日本医療マネジメント学会、日本病院管理学会

日本神経・筋疾患 摂食・嚥下・栄養研究会 第3回学術集会徳島大会のご案内

The Japan Society for Deglutition and Nutrition in Neuromuscular Disorders

(URL : <http://www.pmdrinsho.jp/JSDNNM/>)

会長 野崎 園子
独立行政法人 国立病院機構 徳島病院

日時：平成19年10月20日 (土) 11:00~15:30

会場：ホテルグランドパレス徳島

(徳島市寺島本町西1-60-1 TEL 088-626-1111)

主催：日本神経・筋疾患 摂食・嚥下・栄養研究会

共催：株式会社大塚製薬工場

一般演題募集

募集期間：平成19年9月7日 (金) ~ 9月28日 (金)

(<http://www.pmdrinsho.jp/JSDNNM/>にて登録受付)

参加費：

(会員) 医師 3,000円, コメディカルまたは学生 1,500円

(非会員) 医師 1,500円, コメディカルまたは学生 1,000円

(会員は年会費含む)

11:00~ 特別講演「フランス料理で嚥下障害食を楽しく」

(株)ユーリーズ代表取締役 多田鐸介シェフ

問い合わせ先

国立病院機構徳島病院 臨床研究部 野崎園子

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354

TEL : 0883-24-2161 (代表) / FAX : 0883-24-8661

12:00~ 昼食会

多田シェフによる嚥下障害食のバイキング (3,000円)

13:30~ 一般演題